

気候危機の現状と課題、私たちが2050年までにめざす「脱炭素社会」について学びました。



県生協連組織委員会主催で、会場参加とZoomでのオンライン参加のハイブリッド型学習会として、3月12日(金)に開催しました。オルガホールでの会場参加と各会員生協でオンライン参加のためのサテライト会場を計4カ所設置するとともに個人でのオンライン参加も含め35人が参加しました。

テーマは、「気候危機の現状と課題、脱炭素に向かう世界、私たちが2050年までにめざす『脱炭素社会』って何?」と題して、気候ネットワークの田浦健朗事務局長に講演いただきました。講演では、現在、地球が抱えている気候危機の現状、温室効果ガス削減に向けた世界の動き

や先進事例、日本国内での様々な動きや課題などについて解説した後、私たちができることなどについて触れられました。まとめとして、平均気温の上昇を1.5℃に抑えなければ深刻な状況になること、パリ協定に沿って世界では「脱炭素」「自然エネルギー100%」への転換が起きつつあること、国内の自治体で2050年排出実質ゼロ宣言が増えていること、温暖化対策自体が生活の向上、雇用の促進、地域の活性化につながっていることなどを挙げ、家庭や職場、地域で自然エネルギー100%をめざし、脱炭素社会の経済とくらしに向けた大転換をすすめることが必要なことなどを学びました。

